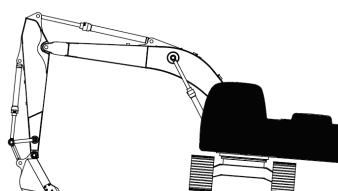
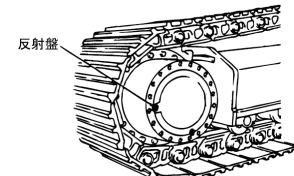
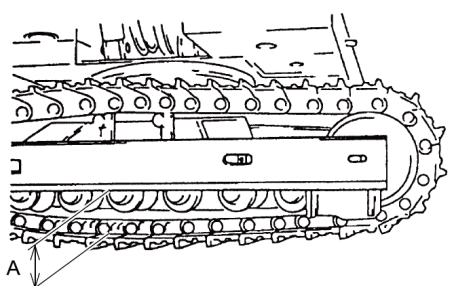
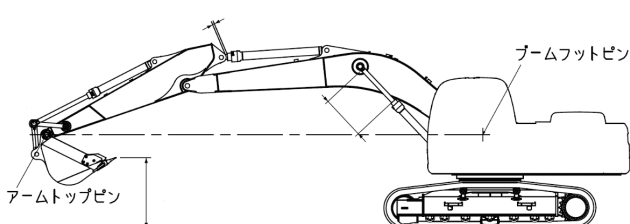
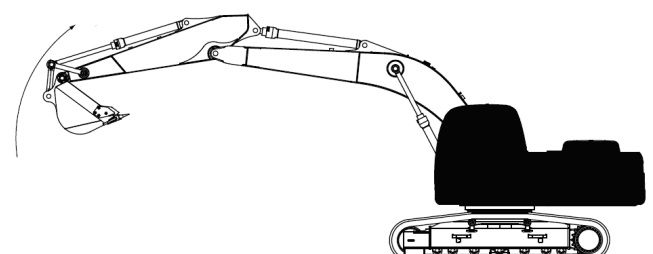
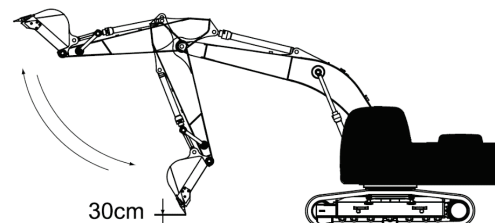
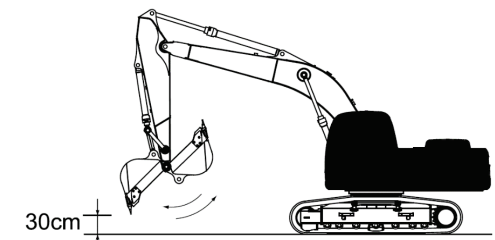


項目	測定方法
走行性能	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：50±5℃ ・作業モード：Hモード / ・走行モード：2速 ・[図-01.1]のように旋回フレームを約90°旋回してアタッチメントをしようして片側のクローラが地面から浮くようにします。 ・[図-01.2]のように走行モータカバーにマグネット付き反射盤を取付けてストロボ回転計で回転数を測定するか、1分間の回転数を目視で測定します。   <p style="text-align: center;">図-01.1 図-01.2</p>
クローラの張り	<ul style="list-style-type: none"> ・ホウアタッチメントでクローラを片側ずつ浮かせた状態で、シュー上面とトラックフレーム下面との最大間隔（A）を計測します。 ※持ち上げた機体は受台などで確実に支持してください。  <p style="text-align: center;">図-02</p>
作業機自然降下 シリンダ自然伸縮	<ul style="list-style-type: none"> ・作動油温：45℃～55℃ ・計測場所：水平堅固な平坦地 ・測定姿勢：バケット空荷、アームシリンダ最縮から50mm伸ばし、バケットシリンダ最伸でブームフットピンとアームトップピンが一致する高さで保持します。 ドーズブレード付きの場合は、ドーズシリンダ最縮から10mm伸ばします。 ・エンジンキーOFF後、指定時間経過時の変化量を測定します。  <p style="text-align: center;">図-03</p>

項目	測定方法
ブーム速度	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：45℃～55℃ ・測定姿勢：アームシリンダを最縮長、バケットシリンダは最伸長とします。 ・バケットの接地位置から最高上げ位置までの所要時間を測定します。（クッション作動時間は含まない）  <p style="text-align: center;">図-04</p>
アーム速度	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：45℃～55℃ ・測定姿勢：バケット爪先が地上30cm高さになる姿勢にします。 ・アームシリンダの最伸長時（最縮長時）から最縮長（最伸長）までの時間を計測します。（クッション作動時間は含まない）  <p style="text-align: center;">図-05</p>
バケット速度	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：45℃～55℃ ・測定姿勢：アーム垂直状態で、バケット爪先が地上30cm高さになる姿勢にします。 ・バケットシリンダの最伸長時（最縮長時）から最縮長（最伸長）までの時間を計測します。（クッション作動時間は含まない）  <p style="text-align: center;">図-06</p>